WEEKLY REPORT

ROTARY CLUB OF NAGOYA MIZUHO

地域を育み、大陸をつなぐ

2010～2011年度
国際ロータリーのテーマ
地域を育み、大陸をつなぐ
2010～2011年度
RI会長　レイ・クリンギンスミス

創　　立：1980年(昭和55年)1月10日
会　　長：田中　隆義
幹　　事：加納　　裕
クラブ広報委員長：梅村　昌孝
例　会　日：毎週木曜日 PM12:30～
会　　場：ヒルトン名古屋

事　務　局：460-0008
名古屋市中区栄1丁目3-3　ヒルトン名古屋910号
T　E　L：052-211-3803
F　A　X：052-211-2623
M　A　I　L：2760_nagoya@mizuho-rc.jp
U　R　L：http://www.mizuho-rc.jp/

第1499回例会

～識字率向上月間～
クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2011年3月31日(木)　曇　第36回

司　　会：杉村建二会場委員
斉　　唱：「それでこそロータリー」「四つのテスト」
ゲ　ス　ト：藤井　和文さん(宮の森みどりの少年団)
　　山岸宗次郎さん(宮の森みどりの少年団)

名古屋瑞穂RC会長挨拶　田中隆義会長

皆さん、こんにちは。今日は皆様にご報告とお願いをいたします。この度の東日本大震災の義援金として、姉妹提携クラブの台北延平RCから瑞穂RCに150万円を送金していただきました。台北延平RCからの手紙をご披露致します。

『この度、東北関東大震災で恐ろしい津波が攻撃し、および原子力発電の爆発などの際、わざわざ台北まで来られまして、台北延平RC34周年チャーター記念例会に参加していただき、心から感謝しております。例会中に会長が台北延平RCメンバー代表として約束した、震災の寄付金が用意してありますので振込先を教えて下さい。台北延平RCの姉妹提携クラブの瑞穂RCと茅ヶ崎湘南RCの両者に150万円ずつ用意してあります。震災を受けた地域にご使用下さい。』

手紙にありますように、台北延平RCは、姉妹提携クラブの瑞穂RCと茅ヶ崎湘南RCにそれぞれ150万円の義援金を入金してくださいました。この義援金の扱いについて、臨時理事会で審議して以下のように承認されました。

『地区には1人当たり1,000円、計66,000円をニコボックスから拠出する。瑞穂RCの会員には1万円以上のご協力をお願いして、ニコボックスからの拠出金と合わせて200万円、台北延平RCの150万円と合わせて350万円を瑞穂RCと台北延平RCの共同で中日新聞社に委託する。』

つきましては、皆様方は既にいろいろなところで、募金をなさっていることとは存じますが、瑞穂RCの会員としてご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。そして本日の例会終了後に、加納幹事と一緒に中日新聞社に届けてきます。

どうかよろしくお願いいたします。

委員会・同好会報告

ゴルフ同好会：堀慎治さん

4月22日(金)三好カントリークラブにて震災チャリティーコンペを開催致します。参加費はお一人2万円で、そのうちの1万円を寄付させていただきます。会員以外の方も是非ご参加していただけるようよろしくお願いいたします。

親睦活動委員会：近藤茂弘委員

4月10日(日)に行われる春の家族会でのお土産についてですが、本日申込書をお渡ししますので、まだ申し込んでいない方は今日中にお願いします。

地域功労賞表彰

職業奉仕委員会：松岡道弘委員長

本年度の地域功労賞受賞者は、個人の部は田中会長よりご推薦をいただいた鈴木圓三さん、団体の部では会員の小串さんよりご推薦をいただいた「宮の森みどりの少年団」です。本日は熱田神宮文化部教化課長の藤井和文さんと平成22年度団長の山岸宗次郎さん(小学六年生)にお越しいただきました。

熱田神宮文化部教科課長：藤井和文さん

宮の森みどりの少年団の日頃の活動に対しまして、このような賞をいただき、本当にありがとうございます。子供達には励みになり、ますます充実した活動ができると思います。これからも頑張っていきますので、見守っていただけたらと思います。

宮の森みどりの少年団平成22年度団長：山岸宗次郎さん

現在宮の森みどりの少年団は団員約30名で、普段は熱田神宮内で活動しています。活動に入る前に団員全員で本殿に参拝に行きます。先日は神宮内にある田んぼで田おこしをした後、境内に生えてるノビルとキクラゲを採りに行きました。神宮内には自然がいっぱいあります。今後も自然に触れ合った活動をしていきたいと思います。今日はありがとうございました。

会員：鈴木圓三さん

本日はこのような賞をいただきありがとうございます。長年役をいただいており、その関係で地域に奉仕をしてきました。今後いっそう励みになります。ありがとうございました。

幹事報告　加納　裕感幹事

・本日13:40より9F「ことぶきの間」において新旧会長・副会長・幹事懇談会を行います。
・4月7日(木)15:00より9F「ことぶきの間」において第6回CA・第10回理事会、18:00より4F「桜の間」で第1500回記念例会を行います。
・ニュージーランド地震と東北関東大震災の義援金として、それぞれ1人当たり1,000円、計66,000円をニコボックスより地区に送金しました。

出席報告　稲垣　豊出席委員

会員66名　出席51名（出席計算人数51名）

出席率　86.4%　　3月24日 は補填により 76.4 %

東日本大震災義援金

3月31日(木)、東日本大震災の義援金として、台北延平RCから150万円、名古屋瑞穂RCから200万円、合計金額350万円を中日新聞社へ委託致しました。

ニコボックス　稲垣　豊ニコボックス委員

・3月22日は35回目の結婚記念日でした。　稲垣　豊さん
・3月25日は妻の誕生日でした。いつもいつもお花をありがとうございます。　堀　慎治さん
・大地震御見舞い致します。　馬場　將嘉さん
・次男が歩くようになりました。　鈴木　淑久さん
・原発が深刻になってきました。心配です。　内田　久利さん
・明日4月1日より会員の亀井さんのお嬢さんに私どもの松波動物病院で動物看護士として勤めて頂きます。大事なお預かりです。　松波　恒彦さん

会員卓話　地区大会準備状況について

高村博三地域大会実行委員長

地区大会実行委員会は昨年発足致しましたが、いよいよ今年は地区大会の本番となります。今日は「地区大会のご案内」には書かれていないことを中心にお話ししたいと思います。

地区大会とは地区内の会員が一堂に会しますが、どうしても一方通行になりがちです。私はロータリアン歴30年以上になりますが、地区大会に最後まで参加できたことは少なかったという経験もあり、開催時間は少しでも短い方が良いと考えております。私自身の話だけではなく、地区大会も終わりが近づくにつれ、かなり参加人数が少なくなるのは事実です。なるべく皆様が最後まで参加できるように、内容を圧縮して、開催時間を短くできるようなプログラムを作ろうと話しております。東北関東大地震をうけて、以前から大地震が来ると言われている愛知県での地区大会ですので、使用するホテルの災害時の対応や普段からの取り組みにまで気を配りたいと考えております。講師には第1日目に田母神さん、第2日目には須田さんにお願いしてあります。それぞれが違った方向のお話しになるように考えた人選です。

遠山堯郎大会幹事

地区大会は、できるだけ多くの参加者が出席できる開催地を選択すべきである。地区大会の目的は、親睦、感銘深い講演、地区内クラブやＲＩ全般に関する問題の討議を通じて、ロータリーの綱領を推進することであり、ＲＩ理事会から提出された特別な問題あるいは地区内で生じた問題についても検討する。ロータリーのプログラムを広く紹介するとともに、地区やクラブが成功を収めた活動を表彰することを奨励している。地区大会の開催期間は少なくとも2日間、最高3日間を推奨している。ガバナーは、ロータリーに関連した主題を主な内容として地区大会のプログラムを作成するよう求め、地区大会のプログラムを計画するにあたって、合計9時間費やすことが求められている。（昼食会、晩餐会、次期会長及び幹事の会合は含まず）

参加者は、地区の全ロータリアンの関心に訴えるよう計画し、特に新しいRC会員の出席が奨励されている。配偶者、家族、RAC、インターアクト、青少年交換学生、ロータリー財団学友、その他ロータリー・プログラムのボランティア（例えばＲＣＣ＝地域共同体）に地区大会活動への参加を呼びかけるよう、理事会がガバナーに奨励している。開催時期は地区にとって最も都合の良い時期に地区大会を開催するよう奨励し、国際大会の開催日に先立つ8日間、および国際協議会の閉会日後8日間は開催してはならないとしている。地区大会の要件は、ＲＩ会長代理に、少なくとも2回は大会で講演する機会を用意する。そのうち1回は、配偶者を含む最多数の出席者がいる大会セッションで20～25分間主要な講演をすること、またこの主要な2回の講演の他に、会長代理には大会の終わりにホスト地区に感謝の意を表する挨拶を述べるよう奨励している。

地区大会のための推奨事項は①大半をロータリーおよびロータリー財団に関する主題に焦点を当て、均衡のとれたプログラムを盛り込む。②「友愛の広場」などでクラブや地区のプロジェクト展示を行うよう推進し、新しいロータリアンのために特別オリエンテーションを提供する。③クラブ会長、あるいはクラブで指導的な役割を3年以上務めたロータリアンのために、地区大会の直前または直後に地区指導者育成セミナーを組み入れる。

地区大会におけるロータリーのテーマを現年度のテーマを強調すると同時に、適切な形で次ロータリー年度のテーマおよび強調事項へとつなげる必要がある。ＲＩ会長代理の資格と選出は単なる栄誉と考えるべきものではなく、会長代理は、地区大会の少なくとも3ヶ月前までに任命されるべきである。可能な限り、ＲＩ会長代理は、派遣地区の言語の経験を有しているべきである。会長代理の配偶者の役割は、会長代理が責務を果たすのを支えるという役割に加え、ロータリーの理想とプログラムを推進する責務がある。地区大会における会長代理の講演は、会長テーマに関連した講演と、全世界のロータリーについて報告する講演の2つの主要講演を行うことを要求している。ガバナーは、会長代理の講演の予定を組む前に講演について会長代理の要望を聞くことを要求している。地区大会に出席する会長代理夫妻の旅費は国際ロータリーによって支払われる。ただし、地区大会出席中の会長代理と配偶者のホテル代およびその他の経費は、地区大会が負担するものと規定されている。

増田盛英第2部会委員長

地区大会は今年、髙須会長年度11月19日(土)、20日(日)の2日間で行われます。82年に1度ホスト担当となる地区大会に私達は巡り会い、幸せなクラブであり、幸せなロータリアンです。この大きな行事は全員野球でないと成功いたしません。是非この2日間はお時間を空けておいて下さい。当日まで多くの決め事がありますのでご協力のほどお願い申し上げます。

皆様にお配りした、4月16日（土）の地区協議会で配布するリーフレットをご覧頂きながら、ご説明させていただきます。（進行表参照）

現在理事会とクラブフォーラムで承認されている組織表の空白箇所には4月21（木）日の委員会での決定後、会員皆様のお名前が記入されます。

第1部会の役割は、出席・宿泊手配・交通手段・会場関係、第3部会の役割は総務関係・予算決算・広報記録です。本日は私ども担当の第2部会のご説明をさせて頂きます。第2部会はさらに3つのグループに分けられます。式典関係担当は加納さんのグループが担当します。役割は当日の司会も含めたシナリオ作成です。今、アド企画という企画会社にプロデュースをお願いして話を進めています。RI会長代理晩餐会・ファミリープログラム・地区指導者育成セミナー担当は岡村さんのグループです。晩餐会の準備は出席者名簿の管理や食事の試食で、ファミリープログラムでは主にパストガバナーの奥様方中心の参加者を「リニアＪＲ鉄道館」にご案内します。そして地区指導者育成セミナーでは片山パストガバナーが担当で会場の設営などを行います。髙木さんのグループの役割は、友愛広場での軽食の準備です。今回は登録料がいつもと違うため、軽食でも「ひつまぶし」など工夫が必要です。皆様の知恵をお貸し下さい。晩餐会前のアトラクションでは既にソプラノ歌手の下垣真希さんが決定していますが、2日目のオープニングはただ今検討中です。

4月には地区大会委員会のメンバーも全て決まり、髙村委員長を中心に色々と積み上げて行きたいと思います。よろしくお願い申し上げます。

例会のご案内

■今週の行事　4月7日(木)
行　　事：1500回記念例会
場　　所：ヒルトン名古屋4階「桜の間」

■次週の行事　4月10日(日)
行　　事：春の家族会
場　　所：湯谷温泉泉山閣
※4月14日(木)は4月10日の振替により休会

■次々週行事　4月21日(木)
卓話講師：愛知学院大学経営学部教授
岩田憲明さん
テ　ー　マ：近ごろ元気な中小企業に学ぶ